

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	平成28年度第3回みよし市地区拠点施設整備協議会		
開催日時	平成29年2月28日(火) 午前10時から午前11時15分まで		
開催場所	みよし市役所3階301会議室		
出席者	(委員) 加藤武志(委員長)、原口百合子(副委員長)、小野田恵一、 木戸雅俊、田仲真由美、宮澤義弘、長山恭子、谷端浩明、 富樫佐智子 (事務局) 鈴木副市長、柴田市民協働部長、近藤市民協働部次長、 加藤市民協働専門監、村田協働推進課長、森永協働推進課副主幹、 水野協働推進課副主幹、藤田協働推進課主査、成瀬都市計画課主事、 ㈱松浦建築事務所2人 (計20人) 欠席者 2人 傍聴者 0人		
次回開催予定日	—		
問合せ先	協働推進課 担当者名 水野 電話 0561-32-8025 ファクシミリ 0561-76-5702 メール kyodo@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	—
審議経過	<内容> あいさつ <議題> 1 みよし市地区拠点施設整備基本計画(案)について 2 きたよし地区拠点施設基本設計(案)について		

会議録 開会	加藤専門監	定刻となりましたので、ただいまから、「みよし市地区拠点施設整備協議会」をはじめさせていただきます。 最初に礼の交換を行います。 皆様、ご起立ください。 【一同礼】 ご着席ください。 本日の会議は、みよし市附属機関設置及び運営に関する要綱の第6条に基づき、会議は全部公開としています。傍聴人は、今日はありません。鈴木委員と寺村委員から欠席の連絡をいただいております。では、ここで市民協働部部長の柴田から挨拶を申し上げます。
あいさつ	柴田部長	市民協働部の柴田です。本日は、第3回目のみよし市地区拠点施設整備協議会を開催したところ、委員の皆様にはお忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。きたよし地区の拠点施設整備にあたり、地域の皆さんが施設を利用していただくうえで、より使い勝手の良い施設となる様、市民ワークショップを開催し、2回の協議会を開催して委員の皆様の貴重な意見をいただき進めて参りました。 本日の議題ですが、今まで委員の皆様からいただいた意見を踏まえ「(1)みよし市地区拠点整備基本計画(案)について」、また「(2)きたよし地区拠点施設の基本設計(案)について」を議題として皆様の意見をいただき最終のまとめとすることを考えています。詳細については、会議の中で説明しますが、委員の皆様それぞれの立場での貴重なご意見をいただきますようお願い申し上げまして、簡単ですが挨拶とさせていただきます。
あいさつ	加藤専門監	つづきまして、加藤委員長のご挨拶を頂戴します。よろしくお願いいたします。
あいさつ	加藤委員長	おはようございます。今日は、まとめていただいたものを確認することとなっています。大きくは二つあり、「前回の基本計画案について」と「きたよし地区拠点施設の基本設計について」ということです。両方をしっかりと確認していきたいと思います。前回の協議会での結果やワークショップでの結果を受けてのまとめとなりますので、遠慮のないご意見をいただき、取りまとめられたら良いのではないかと思います。ご協力をお願い申し上げます。
議題(1)	加藤専門監	それでは次第に沿って進めてまいります。ここからの進行については加藤委員長にお願いします。よろしくお願いいたします。
	加藤委員長	では、議題の一番目「(1)みよし市地区拠点整備基本計画(案)について」事務局からご説明をお願いします。
	事務局	みよし市地区拠点施設の基本計画ということで3地区の基本計画となります。資料1ページをご覧ください。きたよし地区、みな

	加藤委員長	よし地区、なかよし地区、それぞれの基本計画は昨年度にまとめた基本構想を基に作成しています。まず、きたよし地区の基本計画から説明します。きたよし地区の基本計画については、来年度建設に向けた基本設計と実施設計をしていきますので、他の地区より内容が詳細になっています。2階建てで、床面積は当初1,500㎡でしたが、ワークショップなどから地域のニーズや課題の解決に繋がることなど、公共施設の地域間格差を埋めることが大切ということで、この協議会でも意見のあった「余裕があり、将来にわたり使えるように」という考えで「地域に必要で、地域に用意したい施設」を行政としても判断し、その機能配置を考えたものです。面積は、1,778㎡の予定で約18%の増加となっています。この増加分が大きな価値で、公共施設の地域間格差を目に見える形で埋めることになるとうご理解いただきたいと思います。詳細については議題の「(2)きたよし地区拠点施設基本設計(案)について」で改めて説明いたします。続いて「なかよし地区」ですが、2、3ページをご覧ください。2ページは、きたよし地区の基本計画、3ページが、なかよし地区の基本計画です。旧の町民病院で、現在、市民活動センターになっていますが、そこをリフォームしてなかよし地区拠点施設とする基本計画です。今後はきたよし地区と同様の手法で地域に必要な機能や地域の皆さんが共通の認識として必要なものを明確にしていく必要がありますが、現在、この建物には市民活動センターと保健所がありますので、その機能については計画に内在させる形での整備を考えていかなければならないと考えています。資料の説明書き整備方針の概要において、既存施設の有効利用や既存施設の特性を有効活用という表現がありますが、現在の市民活動センター機能を継承していくことを考慮すると、この表現をもう少し具体的なものにする必要がありますと思っています。保健所や市民活動センター機能の内在ということと実際に計画する時に存在する機能を有効に残すように整備計画を進めることを明記したいと思っています。この部分について、本協議会での確認をしていただきたいと思います。続いて、4ページみなよし地区の基本計画です。現在の明越会館を建替えるもので機能の配置を考えていますが、南部地区コミュニティ広場は面積がかなり広いので全体的な整備計画も同時に考えなければなりません。また、計画敷地にもかなり余裕がありますので、拠点施設を建設後に明越会館を解体する計画としています。南部小学校側にも多少広い用地があるので、その辺りを見据えて将来的には考えていく必要があろうかと思いますが、この計画の中ではそこまで明記していません。いずれにしてもなかよし地区とみなよし地区の施設についてもきたよし地区拠点施設と同様の手法を取り入れて、必要な機能を共通認識として作っていくワークショップなどを行い意見集約し、反映させることが重要となってくると思います。以上、5ページまでの3地区の基本計画については、協議会において審議していただき、承認をお願いし、基本計画の概要から基本計画の決定事項としたいと思っていますのでよろしくお願いします。 ありがとうございました。では、1ページ目から5ページ目までの説明がありましたが、一点だけなかよし地区の1ページ右側中段
--	--------------	---

		の「既存施設の有効利用と既存施設の特性」のところが曖昧で解らないので「今の市民活動センター及び保健所の機能を内在させる」と明記することを事務局から補足がありました。また、その時に何の機能が入っているのか判らないので「その時点での機能を含むように」という言葉を付け加えることとします。あとは資料に書いてあることについて、確認したいということですが、いかがでしょうか。質問でも良いですし、もう少しこうした方が良いのではという意見でも良いです。今までに話し合ってきたことの延長だとは思いますが、いかがでしょうか。
	谷端委員	事務室がありますが、2ページです。私としては、入って行って事務室が横にあればすごく楽です。すぐそこで話して帰れます。これが奥まで入っていかなければならないということは、建物としてはこういうものが普通なのかは分かりませんが、例えば集会所ですと、入ってすぐ横に受付があり、話ができ、中まで入っていくことが無い。あるいは今の交流センターでも入って右側に受付があるので対応は別にしてもすぐに話ができるということになります。この事務室の位置は、こちらから用事があって話をして帰る、ということでは奥になっていると思う。ただ、事務室で座って仕事をするには奥の方が良いのだろーと思います。ところが、こちらが行って対応して、すぐに帰りたいという場合に奥まで行かないといけないのは、どうなのかと思います。
	事務局	この事務室を奥にしたコンセプトは、手前の交流サロンとフリースペースでいろんな年代の人たちが階層を分けて、場所や時間を分けてここを利用していきたいということで、ここを広く取りたいというのが第一です。第二に事務室が入口に関所のようにあるのではなく、このフリースペースには普通に入っていけるように、事務室に行って部屋を使いたい人はそこで手続きをするという形で手前に広場、奥に部屋を使いたい人が手続する場所を設けたという考え方で奥に事務室を設置しました。
	加藤委員長	よろしいですか。図面の詳細については、この後の基本設計のところで時間があると思いますので、全体の基本計画案についてご質問などがあれば伺います。
	小野田委員	基本的にきたよし地区拠点施設はワークショップを開いて具体的にになっているのですが、なかよし地区拠点施設とみなよし地区拠点施設というのは、今後進めていく中で基本計画の概要も変わって良いのですよね。現在はこういう考えだということで理解すればよろしいですか。
	事務局	はい。基本構想の少し進んだものが、今回の基本計画ということで、この後は実際の意見が盛り込まれたかたちできたよし地区拠点施設のようにつくっていくという考え方です。
	加藤委員長	まだ、かなり漠然とした状態の計画図なので、これから詰めていくのだろーと私も理解しています。他に気になること、ご提案でも

議題(2)		構いませんが何かあればと思いますが、いかがでしょうか。
	小野田委員	もう一点、よろしいですか。拠点施設ができた際には、現時点では各行政区にある公民館は設置条例で市の施設という位置づけですが、公民館を市の施設でなくしていくのか、拠点施設を市の施設にして地区施設に戻すのか、ということについてはまだ考えていないのですか。
	事務局	きたよし地区拠点施設に関しては、公共施設のバランスを摺り合わせているのが第一です。この後の総合計画との兼ね合いで4か所目の地区拠点施設も構想には入っています。その中で考えるとここから先、3つの地区拠点施設に関しては補完するだけでなく必要な機能を集約する中で、今ある地区施設を地区内施設にしていく、地元に移していくことを考えていかなければならない。ただ、公共施設の管理のあり方と整備のあり方を検討していかないとはいえないと考えています。
	加藤委員長	つまり、地区施設は公共が管理して地区内施設は地元で管理していくという理解でよろしいでしょうか。
	事務局	そういうことも今後は考えていかななくてはならないということです。
	加藤委員長	今後考えていく必要があるが結論はでていないということでしょうか。他に何か、意見はありませんか。
	事務局	捕捉で3ページですが、なかよし地区の図面で右側に旧の入院棟があり、今も建っているのですが、ここは来年度解体する予定になっています。
	加藤委員長	解体した後、何かに利用する予定はあるのですか。
	事務局	今のところは駐車場の予定をしていますが、まだ具体的な計画はありません。
	加藤委員長	わかりました。他はよろしいですか。では、この3地区の基本計画についてはよろしいですか。それでは、先程の保健所と市民活動センターについては、少し追記するということで、基本計画案についてはこれで了承したいと思います。 続きまして、(2)きたよし地区拠点施設基本設計(案)について事務局から説明をお願いします。
	事務局	きたよし地区拠点施設の基本設計については、資料5ページに沿ってご説明いたします。概要は2階建て、床面積1,778㎡で基本構想に対して約18%の増加、敷地面積については変わりありません。敷地・外観ですが、2ページの平面配置図と席に配布しましたパースを見比べて説明ということでお願いします。建物は、住宅地の中に存在する施設ですので、周辺住宅から離れた位置に配置

		しました。駐車場台数は108台、人と車の動線分離を配慮して設計しています。外観は真四角のビルを建てるのではなく、外観に威圧感がなくて柔らかさがあるものを求めています。騒音対策、視界の対策、南からの直射日光の対策、西日は徹底して抑えるということも考慮しています。内部の通風に関しても高次元で両立できるよう工夫を加えていきたいと思います。また、北側からの窓は安定した採光を得られるよう多めに設けています。続きまして、部屋の構成について説明します。2ページの配置図で分かりやすく示しています。部屋の大きさについては、6、7ページの平面図に寸法が出ています。特に2ページで見ていただくと分かりますが、部屋の構成は基本構想の機能に加え、前回第2回協議会で説明した機能に加え、市の内部調整会議等で必要となった機能と地域のワークショップでの意見、要望を施設の部屋やスペースで確保することで反映できています。1階のフリースペースと交流サロンは、南の明るいエリアに配置することにしました。それで表側にテラスデッキ・イベントスペースと書いてある部分と一体で利用することで大きなイベントスペースが生まれると考えています。具体的には例えばガーデニング教室やフリーマーケットなど地域の人が企画して利用できるエリアになると思います。1階の調理室は、調理教室だけでなく、そこで調理したものを皆に振舞うとか、全国各地から集まってきた人が多いためそれぞれの地域の郷土料理を地区敬老会などの時に提供するなど、そういったことに使えるという意味で「みんなのキッチン」を配置しています。その近くに和室、フリースペース、交流エリア、さらにはホールと連携して利用できる場所ということが調理室を真ん中に配置した理由です。フリースペースと交流サロンについては、ここで子供から高齢者までの利用スペースを割り付けることになりましたが、エリアとして仕切るだけでなく利用時間帯によるタイムシェア、時間で仕切ることもできますと思いますが、この部分の利用勝手についてはこれから先の利用の仕組みづくりを地域の中で考えながらやっていくことになると思います。2階においては、地域活動のための打合せ、軽運動を含む活動、音楽活動そして要望の強かった学習スペースを配置しました。これら多くの多様な要望に対して共存できるように静と動はセパレートしています。左側の会議室は静かな方、上側の会議室、防音機能が付いた音楽活動をするなど行動が伴うものについては上側に分かれています。また、南側から光の入るホール部分に学習スペースを配置しました。さらに2階には簡単な厨房を用意したことで、子供たちがいない時間帯などは高齢者の人などがここで歓談できるような配置を考えましたが、それには場所のセパレートだけでなく時間のセパレートを考えていく必要があると思います。そのルール作りも難しいと思いますが、これも地域の施設ということで地区の意見をまとめていただいてルール作りをしていけば有効な使い方ができると思います。部屋の大きさですが、いまこの会議室が縦9.7m、横6.7mで比較すると6ページ左端の和室二間と広間を含めた部分が、この会議室一部屋の方が少し大きい程度です。2階の会議室の防音の部屋、7ページ会議室1、2の防音の部屋、これを計算していくとこの部屋よりも防音の部屋の方が少し大きくなります。もう一度資料の5ページに戻っていただき、トイレ等も各階
--	--	---

		に1か所、1階には多機能トイレを設置します。音楽室についても防音等も考えていきます。それで(9)その他ですが、ここに飲食可能な床材を選ぶこと土足と土足で利用できないエリアを認めていくこと、太陽光等の災害対策、環境対策については、今後の詳細設計の中で検討し、費用対効果の視点も忘れることなく組み込んでいきたいと考えています。資源ごみの回収ですが、これについては敷地のすぐ北側のメグリア三好店にリサイクルステーションがあります。そのため今あるリサイクルステーションに隣接する公共施設に、さらに資源ごみの回収ステーションを設ける必要があるかどうか、どの位置に設けるのかということも慎重に考えていかななくてはいけないものですから、地域の理解を得ながら進めていくためにも、今回課題として計画に記載して検討をしていくということとしていきたいと思っています。ここに記載していない内容があります。使用料や予約方法、運営の仕方、管理するための人員配置などが挙げられますが、地域の意見や市の職員配置の計画もからみますので、先進事例等も研究し、来年度以降スケジュールをたてて開館に向けて進めていきたいと考えています。以上がきたよし地区の拠点施設についての概要と基本計画、基本設計についての説明となります。
	加藤委員長	ありがとうございました。では、5ページから8ページまで、外観パースも含めて、これがきたよし地区拠点施設の今まで話し合ってきた内容のまとめということなのですが、何かご質問やご意見、気づいたことがありましたらお願いします。
	富樫委員	土足のことですが、会議室1と2が土足不可で、3と4は土足可能になっていますが、その区別というか、なぜ会議室1と2が土足不可なのですか。和室や調理室は食べ物を扱うからなのかも知れませんが、土足を不可とした理由をお聞きしたいと思います。
	加藤委員長	それは確かにそうですね。どうぞ説明をお願いします。
	事務局	会議室1と2は防音の効いた部屋で、ジャズダンスや床に寝転がる運動もここでやることを想定しましたので、上履きで利用してもらいたいという考えであります。会議室3と4については、この部屋と同様に土足利用の考えで計画しました。会議室1と2は防音の効いた部屋で、ジャズダンスや床に寝転がる運動もここでやることを想定しましたので、上履きで利用してもらいたいという考えであります。会議室3と4については、この部屋と同様に土足利用の考えで計画しました。
	富樫委員	もし会議室1と2を、例えばブルーシートなどを敷いてならば土足可能という考え方はありますか。
	事務局	田仲さん、どうでしょう。ダンスをしている人たちは上履き等を持って来ますか。そこは完全にセパレートして寝転ぶものですか。寝転ぶことはあまりないでしょうか。

田仲委員	寝転ぶこともありますが、寝転ぶ際は自分のマットを持って来て、現状土足は不可ですが、土足可能な施設でもそういう風にやっています。私たちがやっていることはそういう形で使いますが、例えばヨガや裸足で使う空手などの人たちもいるので、土足不可の方が有難いのかなと思います。
事務局	いきなり部屋に入るのではなく、前室を設けてそこで履き替えることは考慮しています。
木戸委員	気が付いたことですが、このトイレは全て洋式だと思いますが、和式は無いのでしょうか。
事務局	和式が1ヵ所くらいあっても良いのでは、ということですか。
木戸委員	はい。というのは、震災の時に子供が和式でできなかったことを聞いています。普段、洋式ばかりだと災害時に子どもが、トイレが出来なくなるのではないかとということが懸念されます。
事務局	子どもたちが和式を使えなかったから、和式を作って練習させるということですね。それについては少し研究をしたいと思います。
木戸委員	この前も南部小学校が全部洋式にすると行ったときにその意見も出した。
加藤委員長	そのため和式を1個設けましょうとはすぐには言えません。ここでのトレーニングが必要かというのも疑問です。
事務局	今回の議会でも洋式トイレの設置状況について、質問されています。
加藤委員長	和式のトイレを作ることについての結論は出ませんが、お預かりするということですのでよろしいでしょうか。
宮澤委員	キッチン関係、飲食関係のことで確認しておきたいのですが、例えば自動販売機が設置されるのかどうか。明越会館ですと自動販売機はないですかと聞かれるお客さんが沢山います。こういう拠点施設ではどのように考えられているのか、飲食のルールについて確認したい。
事務局	図面の中にもありますが、とりあえず自動販売機は置く予定としています。
加藤委員長	2階の練習室の前ですか。
事務局	どこが良いのかという話はあるかと思いますが、置く予定をしています。その自動販売機については、災害時に役立つW i - F i機能を持った自動販売機が最近ありますが、そういったものも想定して置く予定を考えています。

宮澤委員	キッチン関係では飲食が可能ということによろしいですか。
事務局	キッチンは当然そうですが、ホールなどで敬老会なども想定していますので、そこでの飲食も可能という形も考えていきたいと思います。
長山委員	床材のことが出ていましたが、壁などに環境を配慮した日本材を使っていただいたら良いのではないかと考えてみました。仕上げについてはまだ何も出ていないと思いましたが、できればFSC材や認証された愛知県産材などもあるので、そういうものを使っただけだと愛知県なら補助金もたぶん出るはずなので、公共施設として、そういうことを考慮していただけたらいいなと思いました。
加藤委員長	壁や内装に県産材を積極的に使っていくこととしてはどうかとの提案ですね。
事務局	実施設計のなかで考えていきたいと思います。
宮澤委員	事務局からフリーマーケットの開催などができるというお話がありましたが、市の土地でフリーマーケットをする場合の許可や物品販売に対して要件の有り無しなどの話はどのような状況でしょうか。
事務局	当然、これからのことですし条例、規則、使用料については定めていかななくてはいけないものです。純粋な商活動については、差があって当たり前と思っていますし、それについては高く設定される傾向にあります。ただ、ここは地域の活動のための地区拠点施設ですので、それについては高く設定して地域の皆さんが行う地域活動としてのフリーマーケットと子どもたちが参加するものを前提として話していますので、誰か主催者が来て収益を上げるようなフリーマーケットには高く設定し、そうでないものは地域活動として認めていくかたちを規則などの中で作っていく必要があると思いますし、そのようにしていきたいと思っています。
谷端委員	5ページの(9)ウ太陽光発電についてですが、全国的によく揉めていることで、陽射しが反射して家に光が入ってくるということがあります。ちょうど建設予定地の交流センターは南側の土地が高くなっているので、気を付けてもらわないと、後で、特に夏は反射光がまともに入っていくのではないかと懸念がありますので、その点をよく調べて設置していただきたいと思います。
加藤委員長	設置位置も形状もこれからですので、反射に気を付けるようにということです。
原口副委員長	素人考えですが、こんなに窓が多くて耐震性や夏の暑さは大丈夫なのですか。

事務局	窓のことで聞いている範囲で言いますと、窓には様々なものがありまして、二重サッシだけでなく三重サッシもあり、特に南側については、金額等の兼ね合いもありますが、そういったものにすることで温度をかなり抑えられます。それと南側窓の真ん中あたりに庇があるのですが、これを真直ぐ出して、屋根にする。2階の腰窓のところも壁にして、もう少し塞いでも良いのかなという考えもありますが、光については十分に配慮したいと思っています。
加藤委員長	庇などを上手に使ってもらい、なるべく夏の直射を遮るようになるということ。もうひとつ、陽射しのことと耐震が大丈夫かということがありましたのでお願いします。
事務局	サッシの大きさ、数等を検討したうえで構造計算をして設計いたしますので、そうした耐震性は大丈夫ということをお答えさせていただきます。
小野田委員	屋根ですが、これは瓦ではないのですか。
事務局	はい、金属屋根です。
小野田委員	これはどのくらい持つものですか。
設計（山田）	材質にもよりますが、一般的にはガルバリウムのような鋼板もありますが、この施設の場合、ステンレスといったものであれば機能的には瓦と同等に、素材自体は持ちます。ただ、塗装が必要になりますので、そのためのメンテは別となります。それで、何故瓦にしないのかというと、瓦にしますと金属屋根に比べて総重量が増えて耐震性や構造躯体に掛かる負担が大きいものですから、そうしたものはなるべく避けたいと考えるからです。
小野田委員	塗装などに費用が掛かるから、瓦の方が良いのかなと思ったのですが、全体的に建物に費用が掛かってしまう訳ですね。
加藤委員長	まあ、重さのことですね。他にどんな些細なことでも結構です。
長山委員	ガラスが一面に張ってあるというのは、とてもすっきりしていて良いと思うのですが、主婦的な感覚で言うと、掃除はどうするのとか、外側のガラス拭きはどういう風にするのだろうと、考えます。
加藤委員長	その辺、どうですか。ガラス張りにすることのメリットもありますし、清掃などのメンテナンスなども大変なのではないか、というご指摘ですが。
事務局	素材によっていろいろあると思いますが、いま気にされている掃除については窓拭きも含めたかたちで清掃管理委託を考えています。

	加藤委員長	清掃がしやすいキャットウォークなどもあると思います。いまのは重要な指摘だと思いますので、なるべく簡易にメンテナンスが出来ることが委員から提案があったことを記録に留めたらどうかと思います。
	事務局	維持管理がし易いということですね。
	加藤委員長	そうでないと最初のコストがどんどん上がっていくので、それよりきちんとメンテナンスが出来る、普通の材質でやれるというのが一つの選択だと思います。
	原口副委員長	建物の中のことで、会議室とホールでプロジェクターは使えるようになりますか。
	事務局	備品の対応となりますが、たぶんプロジェクターは要るものと考えています。
	原口副委員長	要ります。絶対、要ります。
	事務局	すべての部屋にスクリーンを設けることはできないので、大ホールでプロジェクターを使う場合は、舞台の上にスクリーンを設けることになります。そこは考えていかなくはないと思っています。ホールはかなり天井が高いので、どの位のスクリーンを設置するのかということもあるので、その中で考えていきたいと思っています。
	加藤委員長	他に意見はありませんか。
	田仲委員	少し思ったのですが、通用口を含めて出入り口が沢山出来て、使い勝手は良くなるのかと思ったのですが、今、三好丘交流センターで出入り口として使っているのが1ヶ所で、ホールの非常口を搬入口に使っています。例えば計画図のホールを使うときの荷物の出し入れとなるとバックヤードからいくのか、でも、手前に通用口がもう1つあるのでここから出入りできるのか。他に、出入りができる場所はいろんな人が出入りし易いようにするのは勿論ですが、例えば以前夜使っているときに会場の中にメンバー以外の人が入ってきて困ったことがあったので、逆に出入り口が多いとだれでも入ってき易くなるのかなという怖さがあります。
	加藤委員長	1階の平面を見ると通用口が東西南北に全部あります。先程の管理上チェックの話しと出入りできる便利さのバランスの話しと、もう一つは、大ホールへの搬入がどちらになるのかの確認と、その2点について説明をお願いします。
	事務局	まず、搬入口ですが、当初の計画ではすこし少なかったので多くしてもらいました。出入口が多ければ予期せぬ人たちが入室する危険性が高くなるのですが、出入り口を減らせば利便性が落ちます。利便性を上げれば危険性が高くなります。これは管理の話しです。

		で、できるだけそういったことも職員の配置なども含めて考えていきたいと思います。危険性と利便性は、両方大事なことです、設計の中でも考え、現場でも何かを貼るとか危険性を排除できる雰囲気を作っていく配慮はしたいと思っています。
	加藤委員長	はい、他に何かありましたら。
	原口副委員長	駐車場にPHVの電源とかを置く計画は無いのですか。
	事務局	5ページ(9)ウのところで検討しています。
	加藤委員長	ほか、どんなことでも結構です。
	木戸委員	エレベーターですが、重量はどれぐらいですか。
	事務局	11人乗りです。
	加藤委員長	他はいかがでしょうか。
	事務局	委員長。資源ごみのところについての検討をしてもらってよろしいでしょうか。
	加藤委員長	先に事務局から、5ページの(9)オ、一番の右下ですが、資源ごみの回収コーナーというのが階段を下りた先のメグリアにも設置されているため資源ごみの回収場所を設置することについて検討事項にしたいということでした。どうでしょう、これについて何かご意見があればお願いします。
	小野田委員	メグリアが今のままで良いのであれば、今のままで良いし、別のところにして欲しいと言われるのであれば、こちらに設置すべきだろうと思います。今の場所ですと出すのに待ってはいくれない人が多いのではありませんか。
	原口副委員長	土日や年末は凄い人ですけど、普段はさほどでもないことと、南部にあるリサイクルセンターに比べたら出せるものが限られているので、それほどでもないです。
	事務局	この件につきましては、いずれにしても利用者が混乱しないようにしていきたいと思っており、ここに設置ありきで検討するのではなく、要望が多くあり、こちらでということであれば設置を考えていきますし、メグリアのこともありますので、利用者が混乱されても困りますので、それらを含めて一年掛けて検討していきたいと思っています。
	加藤委員長	資源ごみについては検討していただくということでよろしいですね。
	田仲委員	今気付きましたが、和室の2つの部屋が別々に使えるのですか。

		この図面だと前室が一つで入口が一つだから、2部屋あっても一つでしか使えないのかなと思います。
	事務局	2間つづきの和室という考えでいるものですから、襖で分けるのが適当かどうかは検討しないといけないですが、フリースペース側からも入れるようになっていきますので、両方別々に使えますが、ただ真ん中を仕切るときの襖で仕切って利用というのが、防音などの面で検討が必要と考えます。
	田仲委員	今も襖で仕切って使っているんで、そこまで広さは要なくて、半分でいいとなると半分だけの料金で使えるので分けられるほうが良いと思います。
	小野田委員	細かい話しですが、床のレベルはどれくらい上がっているのですか。これから決めていくのでしょうか。
	設計(山田)	これからです。それと今のお話しのなかで、和室2間つづきの南側の部屋はフリースペースから襖ぐらいで仕切っておいて常に開放して使える様に考えています。
	加藤委員長	ルールや運用の問題は残りますが、両方使えるしつらえの方が良いかと思います。ほかに意見はありませんか。いずれにしても、基本設計の段階であり、先ほども出ていましたが、実施設計や管理運営に関わることも多々あったと思います。これで終わりではなくて、これをベースに進めていくということで今日はご確認いただければ良いのではないかと思います。何か大きな根幹を揺るがすようなことがあれば確認しておきたいのですが、どうでしょうか。
	宮澤委員	はい、まだまだこれから話し合いだとか基本的にはこのまま続けてもらえば良いと思います。
	小野田委員	駐車場が108台ということですが、もっと増やせるところがあれば増やした方が良いのではないかと。駐車場は1台でも多く作った方が良いのではないかと思います。
	加藤委員長	駐車場をもう少し取れば増やしてということですね。では、基本設計としてはこの方向ということで、あといくつかのご指摘があったので、トイレの和式も含めてこれから検討していただいて、これから実施設計に進めていただくということとして、今日は副市長も出席されていますので、これから先もコントロールしていった下さると思っていますので、よろしくお願いします。議題については、今日はここまでですが、何か言い残したことが無ければ、事務局にお返ししたいと思いますよろしくお願いします。それでは、お願いします。
	事務局	最終確認として大きな点だけ共通認識としたいと思います。保健所と市民活動センターは整備する時にある機能については内在させていくということでなかよし地区をお願いします。資源ごみにつ

あいさつ		いてはメグリアとの兼ね合いもありますので、混乱しないように市の方で検討していきます。和室の利用は、南側を常にフリースペースと共に使えるように考えていくということ、「駐車場はスペースを最大に、他に環境にも配慮した材料等も検討していく、太陽光の反射についての検討などは記録に残していきます。この会議でまとめた内容は、この3月下旬の議会に報告していきます。ワークショップに参加者には、いただいた意見がどのように反映されたかの資料を作り、本日の結果も踏まえて議会の報告後にお配りします。それから完成の折に、来年度1年かけて詳細設計を作るものですから、委員の皆さまには最終結果を時期が来たらお知らせいたします。事務局一同、本当にありがとうございました。今年の初めはどうなることかと思っ始めて始まりましたが、助けていただいてたどり着けました。スタッフ一同感謝で一杯です。ありがとうございました。
	事務局	長時間協議いただきましてありがとうございます。本日の会議が最後となりますので、副市長からお礼をかねて挨拶させていただきます。よろしくお願い致します。
	副市長	本当にフランクな会議で様々な意見を出していただき本当にありがとうございます。皆さん、2年間ですが、この地区拠点施設の基本構想から基本設計まで本当にお世話になりました。また、この「きたよし地区」については、ワークショップなどを開催し、地元の方の幅広いご意見を吸い上げ、本当に良いものになるのではないかと考えています。市長からも、この件については、三好ヶ丘が中心となってくるかと思いますが、この機能がこの地域に不足していたということで、当然財源の問題もでてきますが、今年度3月議会で基金を1億足して、今のところ6億まではきております。もう少し掛かっても大丈夫だという心強いお言葉をいただいております。職員も一生懸命やらせていただいて皆様にはいい誘導をしていただき本当にありがとうございました。またこれからも立場を変えてみよし市へのご意見等をいただきながら進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。ありがとうございました。
	加藤専門監	ありがとうございました。それでは、これで終了といたします。 ***** 閉 会 ***** ***** 一同礼 *****